

第48回日独スポーツ少年団同時交流(派遣)
参加申込書〔団員〕

＜顔写真＞
画像
または
貼り付け

ふりがな				所属都道府県			
氏名	性別	男・女	身長	cm			
	血液型	型	体重	kg			

生年月日	西暦	年	月	月	年齢 (2021.4.1時点)	歳
------	----	---	---	---	--------------------	---

所属 スポーツ少年団	スポーツ少年団			団登録番号 8桁		
活動種目	団における 役割				活動年数	年
現在の 活動状況						
申込区分 (該当するものに○)	<input type="checkbox"/>	シニア・リーダー資格保有	認定番号	S	認定時期	年3月
	<input type="checkbox"/>	シニア・リーダー認定見込	認定見込時期	年3月		
	<input type="checkbox"/>	活動単位制	単位数合計	単位		
	<input type="checkbox"/>	都道府県スポーツ少年団 本部長特別推薦	※裏面の活動単位数を記入すること ※特別推薦書を作成・提出すること			

得意なスポーツ 特技・趣味(3つまで)						
英語会話	1よくできる 2できる 3少しできる 4できない	海外渡航経験	あり・なし	パスポート保有	あり・なし	
ドイツ語会話	1よくできる 2できる 3少しできる 4できない	主な渡航先				
日独同時交流 参加経験(西暦)	年 派遣・受入		年 派遣・受入		年 派遣・受入	

ふりがな						
現住所	〒 <input type="text"/>					(注)建物名も必ずご記入ください。
電話番号 (ハイフンで区切る)	<携帯>		メールアドレス (フリーアドレス可)			
	<自宅>		FAX (ハイフンで区切る)			

ふりがな						
緊急連絡先	〒 <input type="text"/>					
<input type="checkbox"/> 現住所と同じ (右欄記入省略)						
電話番号 (ハイフンで区切る)			ふりがな 氏名			続柄
メールアドレス						

ふりがな					学年 (4/1時点)	年
学校名 (4月1日時点)	正式名称を記入してください 例:〇〇立〇〇高等学校〇〇科					

【注意事項】

- 提供いただく個人情報は、本交流実施に必要な事項および諸連絡に利用します。
(日本スポーツ協会が管理し、法令などにより開示を求められた場合を除き、本人の同意なしに第三者へ開示・提供することはありません)
- 入力いただいた氏名、性別、所属都道府県、特異なスポーツ・趣味・特技の項目は報告書に掲載します
- 交流期間中に撮影した写真等は、プログラム、報告書、日本スポーツ協会・都道府県体育・スポーツ協会のウェブサイト、広報資料等に利用する場合があります。

裏面に記載の「公益財団法人日本スポーツ協会倫理規定(抜粋)」の内容を理解し、遵守することを誓約の上、参加を申し込みます。

本人記入欄

保護者記入欄

西暦 年 月 日

西暦 年 月 日

氏名: _____ 印

氏名: _____ 印

※「団員推薦理由書」添付

団員との続柄:

同一の活動に複数回参加している場合も、それぞれ単位とみなす

参加した活動(該当するものに○)		参加年・取得年 (西暦/数字のみ)	詳細(役割など)	開催地
1. 全国スポーツ少年団大会	5単位			
2. ブロックスポーツ少年大会	5単位			
3. スポーツ少年大会 運営係員 (全国・ブロック・都道府県)	5単位			
4. 競技別交流大会 運営係員 (全国・ブロック・都道府県)	5単位			
5. ジュニア・リーダースクール 運営係員	5単位			
6. ブロックリーダー研究大会	5単位			
7. ジュニア・リーダー認定者	10単位		認定番号: J	
8. 道府県リーダー会役員 (経験年数1年以上)	10単位			
9. 日独スポーツ少年団同時交流(受入) [過去5年以内] ※	20単位			
10. スポーツ少年団認定員・認定育成員 資格保有	20単位		認定番号: N・K	

※2013(平成25)年度以降に日本スポーツ少年団が主催したドイツスポーツユース(JDSJ)との国際交流において受入プログラムの運営および民泊受入等を行った実績を持ち、所属都道府県スポーツ少年団本部長が特に認めた者とする

合計単位数: 単位 (必要単位数: 20単位以上)

「公益財団法人日本スポーツ協会 倫理規程」 抜粋

(遵守事項)

第4条 役職員等及び登録者等は、暴力、各種ハラスメント(セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント等)、差別、試合の不正操作、違法賭博、ドーピング、薬物乱用(大麻、麻薬、覚醒剤等)等の違法行為や、スポーツの健全性及び高潔性を損ねるような社会規範に照らして不適切な行為を絶対に行ってはならない。

2. 役職員等及び登録者等は、個人の名譽を重んじ、プライバシーに配慮しなければならない。

3. 役職員等及び登録者等は、日常の行動について公私の別を明らかにし、職務やその地位を利用して自己の利益を図ることや斡旋・強要をしてはならない。

4. 役職員等及び登録者等は、補助金、助成金等の経理処理に関し、公益法人会計基準及び補助先、助成先等が指定する経理処理要項等に基づく適正な処理を行い、決して他の目的の流用や不正行為を行ってはならない。

5. 役職員等及び登録者等は、自らの社会的な立場を認識して、常に自らを厳しく律し、本会の信頼を確保するよう責任ある行動を取らなければならない。

6. 役職員等及び登録者等は、社会の秩序に脅威を与える反社会的勢力と一切の関係を持つてはならない。

